

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L1: Entry 227 of 243

File: DWPI

Nov 5, 1999

DERWENT-ACC-NO: 2000-046422

DERWENT-WEEK: 200004

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Facsimile machine for forwarding information received during holiday, or on saturday or sunday by e.g. company to residence - has call circuit which performs automatic call to forwarding destination registered after reception of unique information is completed, and forwards reception information stored by memory circuit

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

CANON KK

CANO

PRIORITY-DATA: 1998JP-0128190 (April 22, 1998)

Search Selected

Search ALL

Clear

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC



JP 11308430 A

November 5, 1999

009

H04N001/32

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP 11308430A

April 22, 1998

1998JP-0128190

INT-CL (IPC): H04 N 1/21; H04 N 1/32

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11308430A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A call circuit (22) performs an automatic call to a forwarding destination registered after the reception of unique information is completed, and forwards reception information stored by a memory circuit (18). A detection circuit (28) detects unique information within facsimile reception information. DETAILED DESCRIPTION - A registration circuit (26) registers the address of the forwarding destination corresponding to each unique information. The memory circuit stores the reception information when the detection circuit detects unique information registered into the registration circuit.

USE - For forwarding information received during holiday, or on saturday or sunday by e.g. company to residence.

ADVANTAGE - Provides convenience to user since reception information can be reliably forwarded to transfer point which can be reliably recognized. Enables easy utilization by user. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram

of the facsimile machine. (18) Memory circuit; (22) Call circuit; (26) Registration circuit; (28) Detection circuit.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: FACSIMILE MACHINE FORWARDING INFORMATION RECEIVE HOLIDAY COMPANY
RESIDENCE CALL CIRCUIT PERFORMANCE AUTOMATIC CALL FORWARDING DESTINATION REGISTER
AFTER RECEPTION UNIQUE INFORMATION COMPLETE FORWARD RECEPTION INFORMATION STORAGE
MEMORY CIRCUIT

DERWENT-CLASS: T01 W02

EPI-CODES: T01-H07C; T01-J10A2; W02-J03C5; W02-J08A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2000-035997

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-308430

(43) 公開日 平成11年(1999)11月5日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 N 1/32

識別記号

F I

H 0 4 N 1/32

Z

D

L

1/21

1/21

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平10-128190

(22) 出願日 平成10年(1998)4月22日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 吉田 武弘

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

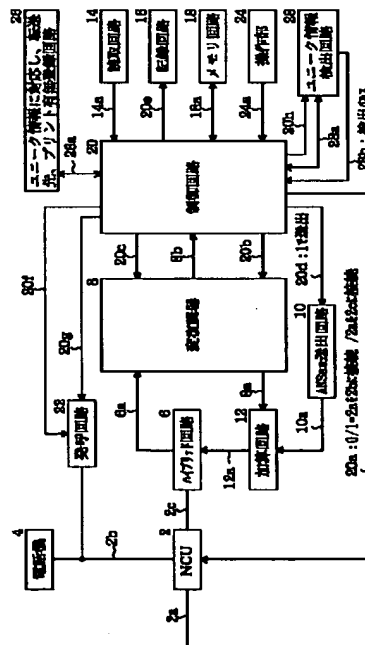
(74) 代理人 弁理士 川久保 新一

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 ある事業所等で共用されているファクシミリ装置において、特定の人員の移転等に適正に対応できるファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 ファクシミリ受信時に、その受信情報の中から、登録回路26に登録されているユニーク情報を検出回路28によって検出すると、この受信情報はメモリ受信として通信終了後、このユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、メモリ受信情報を転送する。また、登録回路26におけるプリントアウトするか否かの設定に基づいて、メモリ受信した情報を記録するか否かを決定し、プリントアウトする設定であれば、メモリ受信した情報をプリントアウトする。さらに、上述した受信時に、ユニーク情報を検出した場合、受信動作終了後、その送信元に対し、そのファクシミリは転送した旨と転送宛先を受信情報の1ページ目を一緒にしてボーリング送信で通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファクシミリ受信情報の中からユニーク情報を検出する検出手段と、

各ユニーク情報に対応して転送する宛先を登録する登録手段と、

前記登録手段に登録されているユニーク情報を前記検出手段により検出した場合に、その受信情報についてはメモリ受信とし、その受信終了後に、前記ユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、前記メモリ受信した受信情報を転送する転送手段と、

を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1において、各ユニーク情報に対応して、さらに受信情報をプリントアウトするか否かを設定する設定手段を有し、この設定に基づいて、前記メモリ受信した受信情報を記録するか否かを決定することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1または2において、前記検出手段によってユニーク情報を検出した場合、前記メモリ受信動作の終了後に、その送信者に対し、受信情報を転送した旨と、転送宛先とをボーリング送信によって通知することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 請求項3において、ボーリング送信する時に、受信情報の一部も送付することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項5】 ファクシミリ受信情報の中からユニーク情報を検出する検出工程と、

各ユニーク情報に対応して転送する宛先を登録する登録工程と、

前記登録工程によって登録されているユニーク情報を前記検出工程により検出した場合に、その受信情報についてはメモリ受信とし、その受信終了後に、前記ユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、前記メモリ受信した受信情報を転送する転送工程と、

を有することを特徴とするファクシミリ装置の制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特に転送可能なファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、受信情報を転送可能なファクシミリ装置としては、例えば会社等の事業所が土曜日、日曜日等の休日において、事業所に受信した情報を自宅にあるファクシミリ装置に転送するようにしたものが見出されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記従来のファクシミリ装置では、月曜日から金曜日までに受信したファクシミリ情報は、事業所のファクシミリ装置に出力することになる。

【0004】ここで例えば、ある事業所Aの何人かが、場所の離れた事業所Bに引っ越しをしたとする。この場合、従来は、事業所Bに引っ越しした人が取引先に連絡し、引っ越しの旨とFAX番号が変わったことを知らせるのが一般的である。

【0005】しかしながら、取引先全員に通知できず、重要な情報が事業所Aのファクシミリ装置で受信し、これに気づかず重大なビジネスチャンスを逃してしまうという問題が生じる。

10 【0006】そこで本発明は、ある事業所等で共用されているファクシミリ装置において、特定の人員の移転等に適正に対応できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本出願の第1の発明は、ファクシミリ受信情報の中からユニーク情報を検出する検出手段と、各ユニーク情報に対応して転送する宛先を登録する登録手段と、前記登録手段に登録されているユニーク情報を前記検出手段により検出した場合に、その受信情報についてはメモリ受信とし、その受信終了後に、前記ユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、前記メモリ受信した受信情報を転送する転送手段とを有することを特徴とする。

【0008】本出願の第2の発明は、第1の発明において、各ユニーク情報に対応して、さらに受信情報をプリントアウトするか否かを設定する設定手段を有し、この設定に基づいて、前記メモリ受信した受信情報を記録するか否かを決定することを特徴とする。

30 【0009】本出願の第3の発明は、第1または第2の発明において、前記検出手段によってユニーク情報を検出した場合、前記メモリ受信動作の終了後に、その送信者に対し、受信情報を転送した旨と、転送宛先とをボーリング送信によって通知することを特徴とする。本出願の第4の発明は、第3の発明において、ボーリング送信する時に、受信情報の一部も送付することを特徴とする。

40 【0010】本出願の第5の発明は、ファクシミリ受信情報の中からユニーク情報を検出する検出工程と、各ユニーク情報に対応して転送する宛先を登録する登録工程と、前記登録工程によって登録されているユニーク情報を前記検出工程により検出した場合に、その受信情報についてはメモリ受信とし、その受信終了後に、前記ユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、前記メモリ受信した受信情報を転送する転送工程とを有することを特徴とする。

50 【0011】上述した第1、第5の発明では、ある事業所等において、一部の人員が移転した場合等に、その移転者のユニーク情報を登録しておき、これを受信情報の中から検出して自動的に移転先のファクシミリ装置に転送することにより、元の事業所で使用していたファクシ

ミリ装置に受信があった場合でも、この受信情報を確実に転送先へ転送でき、ユーザには便利な装置を提供できる。

【0012】また、第2の発明では、転送先に転送した場合にも、その受信情報を元の事業所でプリントアウトするか否か選択することができる。したがって、例えば転送者が元の事業所にも自分の机がある場合には、受信情報をプリントアウトし、元の事業所に自分の机がない場合にはプリントアウトしないと設定でき、ユーザに使い易い装置を提供できる。

【0013】また、第3の発明では、送信機側のオペレータは、ボーリング送信情報を受け取るにより、送信相手が転送したこと、転送先を認識でき、次回からは転送先への送信が可能になり、便利な装置を提供できる。また、第4の発明では、送信機側のオペレータは、転送者が誰であるかを確実に認識でき、さらに便利な装置を提供できる。

【0014】

【発明の実施の形態および実施例】図1は、本発明の一実施例によるファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【0015】NCU（網制御装置）2は、電話網をデータ通信等に使用するために、その回線の端末に接続し、電話交換網の接続制御を行ったり、データ通信路への切換えを行ったり、ループの保持を行なうものである。また、NCU 2は、制御回路20からの信号レベル（信号線20a）が「0」であれば、電話回線2aを電話機4側に接続し、信号レベルが「1」であれば、電話回線2aをファクシミリ装置側に接続するものである。なお、通常状態では、電話回線2aは、電話機4側に接続されている。

【0016】ハイブリッド回路6は、送信系の信号と受信系の信号とを分離し、加算回路12からの送信信号をNCU 2経由で、電話回線2aに送出し、相手側からの信号をNCU 2経由で受取り、信号線6a経由で、変復調器8に送るものである。

【0017】変復調器8は、ITU-T勧告V. 8、V. 21、V. 27ter、V. 29、V. 17、V. 34に基づいた変調、および復調を行なうものであり、信号線20cにより、各伝送モードが指定される。この変復調器8は、信号線20bに出力されている信号を入力し、変調データを信号線8aに出力し、信号線6aに出力されている受信信号を入力し、復調データを信号線8bに出力する。

【0018】ANSam送出回路10は、ANSam信号を送出する回路であり、信号線20dに信号レベル「1」の信号が出力されている時には、信号線10aにANSam信号を送出し、信号線20dに信号レベル「0」の信号が出力されている時には、信号線10aに何も信号を出力しない。

【0019】加算回路12は、信号線8aの情報と信号線10aの情報とを入力し、加算した結果を信号線12aに出力するものである。読取回路14は、原稿の画像を読み取り、この読取り画像データを信号線14aに出力するものである。記録回路16は、信号線20eに出力されている情報を順次1ライン毎に記録するものである。

【0020】メモリ回路18は、読取りデータの生情報、あるいは、符号化した情報を格納したり、また、受信情報、あるいは、復号化した情報等を格納するために使用する。

【0021】発呼回路22は、信号線20gに発呼命令パルスが発生した時、信号線20fに出力されている電話番号情報を入力し、信号線2bに出力する。

【0022】操作部24は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキー、*・#キー、セットキー、スタートキー、登録回路26への登録キー、その他ファンクションキー等を有し、押下されたキー情報を信号線26aに出力する。

【0023】登録回路26は、0から9の番号に対応し、ユニーク情報、さらに転送先、さらにプリントアウトの有無を登録する回路であり、例えば、番号0としてユニーク情報には「川口太郎、A開発部 川口」を登録し、転送先は「03-3111-1111」と登録し、プリントアウトは「する」と登録する。つまり、本実施例では、0から9の番号に対応して10個のデータを登録できるものとする。

【0024】検出回路28は、ユニーク情報を検出する回路であり、信号線28aを介して検出するユニーク情報を設定し、信号線20hに受信データを順次出力していき、パターン認識等の処理によってユニーク情報を検出すると、信号線28bに検出パルスを発生する。

【0025】制御回路20は、本ファクシミリ装置全体の制御を行うものであり、特に本実施例においては、ファクシミリ受信時に、その受信情報の中から、登録回路26に登録されているユニーク情報を検出回路28によって検出すると、この受信情報はメモリ受信として通信終了後、このユニーク情報に対応して登録されている転送先へ自動発呼し、メモリ受信情報を転送するよう制御する。

【0026】また、登録回路26におけるプリントアウトするか否かの設定に基づいて、メモリ受信した情報を記録するか否かを決定し、プリントアウトする設定であれば、メモリ受信した情報をプリントアウトするよう制御する。

【0027】さらに、上述した受信時に、ユニーク情報を検出した場合、受信動作終了後、その送信元に対し、そのファクシミリは転送した旨と、転送宛先とを受信情報の1ページ目を一緒にしてボーリング送信で通知するよう制御する。

【0028】図2～図5は、本実施例における制御回路20の制御の流れを示すフローチャートである。

【0029】図2において、S0で動作を開始し、S2では、信号線20aに信号レベル「0」の信号を出力し、CMLをオフする。S4では、信号線20dに信号レベル「0」の信号を出力し、ANSam信号を送信しない。

【0030】S6では、信号線24aの情報を入力し、登録回路26への登録が選択されたか否かを判断し、選択されるとS8に進み、信号線26aを介して0から9の番号に対応し、ユニーク情報、転送先、プリントの有無を登録回路26に登録し、さらにこのユニーク情報を信号線28aを介して検出回路28に設定し、S10に進む。また、選択されていないと、そのままS10に進む。

【0031】S10では、受信が選択されたか否かを判断し、受信が選択されるとS14に進み、受信が選択されていないとS12に進み、その他の処理を行い、S2に進む。

【0032】S14では、信号線20aに信号レベル「1」の信号を出力し、CMLをオンする。S16では前手順、S18では画信号のメモリ受信を順次行い、S20では復調、復号化した情報を信号線20hに出力する。

【0033】S22では、1ページの受信が終了したか否かを判断し、1ページの受信が終了するとS24に進み、1ページの受信が終了していないとS18に進む。

【0034】S24では、信号線28bの信号を入力し、ユニーク信号を検出したか否かを判断し、ユニーク信号を検出するとS36に進み、ユニーク信号を検出していないとS26に進み、中間手順を実行する。

【0035】S28では、次ページがあるか否かを判断し、次ページがないとS29に進み、後手順を実行し、S30では、信号線20aに信号レベル「0」の信号を出力し、CMLをオフする。S31では、受信したがまだ記録していない情報の記録を行う。

【0036】また、S28で次ページがあるとS32に進み、1ページ目の記録、および2ページ目以降の画信号の受信と記録を行い、S34に進む。S34では1ページの受信が終了したか否かを判断し、終了するとS26に進み、終了していないとS32に進む。

【0037】また、S36では中間手順を行い、S38では次ページがあるか否かを判断し、次ページがないとS44に進む。また、次ページがあるとS40に進み、画信号のメモリ受信を行い、S42では、1ページの受信が終了したか否かを判断し、1ページの受信が終了していないとS40に進み、1ページの受信が終了するとS36に進む。

【0038】また、S44では中間手順を行い、S46では、受信情報の1ページ目の上側半分の画像に「この

受信情報は宛先03-3111-1111に移転しました」の情報を付加し、メモリ受信した情報の送信元にボーリング送信する。そして、S48では後手順を行う。

【0039】次にS50では、信号線20aに信号レベル「0」の信号を出力し、CMLをオフする。S52では10秒間ウェイトし、S54では、信号線26aを介して検出したユニーク情報に対応して登録回路26に登録されている宛先へ発呼回路22により発呼する。

【0040】そしてS56では、信号線20aに信号レベル「1」の信号を出力してCMLをオンし、S58では前手順を行い、S60では先にメモリ受信した情報を送信し、S62では後手順を行う。S64では、信号線20aに信号レベル「0」の信号を出力してCMLをオフする。

【0041】この後、S66では、信号線26aを介して登録回路26に検出したユニーク情報に対応してプリントアウトすると登録されているか否かを判断し、プリントアウトすると登録されているとS68に進み、先にメモリ受信した情報をプリントアウトし、S2に進む。また、プリントアウトしないと登録されていると、そのままS2に進む。

【0042】なお、以上のような制御回路の動作は、制御回路内のCPUが制御回路内のROMやRAM等に記憶したプログラムに基づいて行うように説明したが、本発明は、このようなプログラムをフロッピーディスクやハードディスク、光ディスクやCD-ROM、さらにはメモリカード等の外部記憶媒体に格納し、これを専用の読取装置によって制御回路内に取り込み、これを制御回路内のCPUで実行するようにしてもよい。

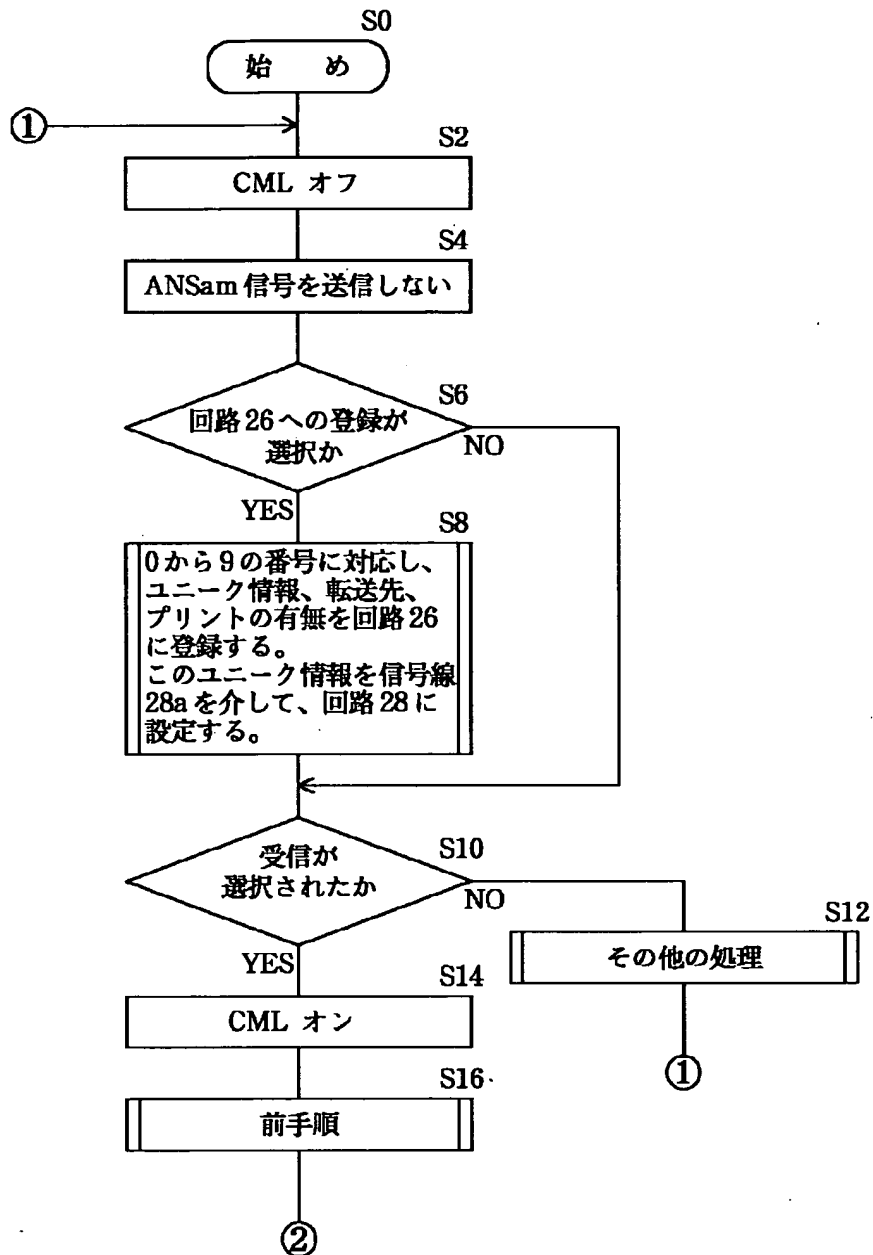
【0043】また、以上の実施例では、スタンドアロンタイプのファクシミリ装置を例に説明したが、本発明はこれに限らず、例えばコピー機能や電子ファイル機能、さらにはデータ処理機能を通信機能と複合させた総合的なデータ処理システムにおけるデータ通信制御に適用し得るものである。また、読取回路や記録回路と分離された通信装置においても同様に適用し得るものである。

【0044】

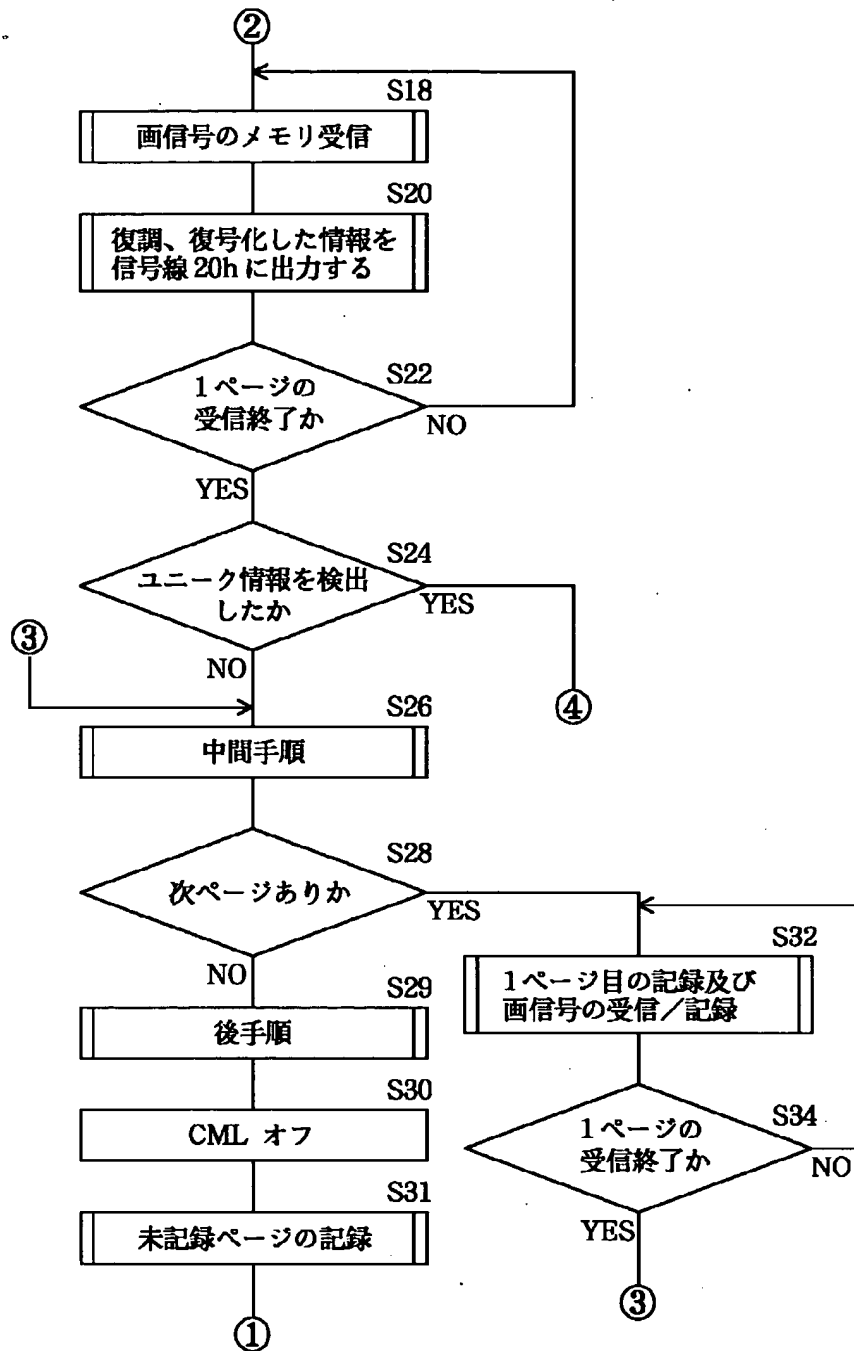
【発明の効果】以上説明したように、本出願の第1、第5の発明によれば、ある事業所等において、一部の人員が移転した場合等に、その移転者のユニーク情報を登録しておき、これを受信情報の中から検出して自動的に移転先のファクシミリ装置に転送することにより、元の事業所で使用していたファクシミリ装置に受信があった場合でも、この受信情報を確実に移転先へ転送でき、ユーザには便利な装置を提供できる。

【0045】また、本出願の第2の発明によれば、移転先に転送した場合にも、その受信情報を元の事業所でプリントアウトするか否か選択することができる。したがって、例えば移転者が元の事業所にも自分の机がある場

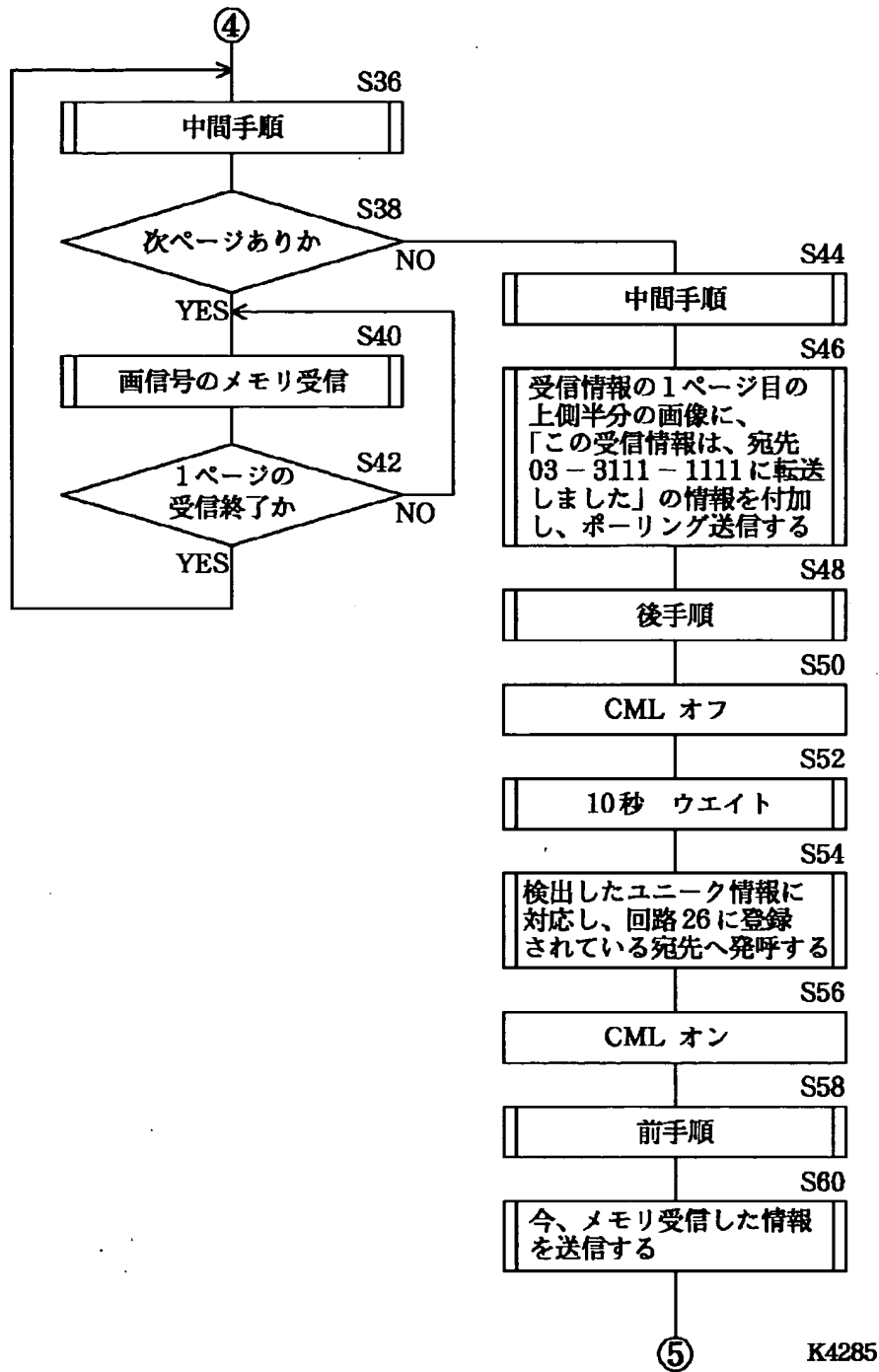
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

